

東洋文化の源流を訪ねて

# 和 敬

裏千家青年奉仕隊 日印文化交流使節  
第2回 北陸信越ブロック隊報告



1988年2月6日～14日

主催 社団法人 茶道裏千家淡交会総本部  
茶道裏千家淡交会青年部北陸信越ブロック

題字は淡交会信越地区長

坂善 筆

(元外務大臣  
小坂善太郎氏)

## 東洋文化の源流を訪ねて



### 主 旨

鵬雲齋お家元のご提唱される、お人の思想を踏まえた「一盃からピースフルネスを」の具現化のために、世界各国へ「裏千家青年奉仕隊」や「裏千家の船」が派遣され、大きな成果を納めている。

北陸信越ブロックにおいても1985年に派遣した「裏千家青年奉仕隊日印文化交流使節」や「裏千家の船」等を通して、着実な歩みが始まっている。

これらの活動をさらに大きく発展させ、次代を背う青年としての国際視野を養い、人格の形成をはかり、茶祖の地に生きる人々とのふれあいを通して、日本とインド・ネパールとの文化交流を促進することを目的とする。

# 裏千家青年奉仕隊日印文化交流使節 第2回 北陸信越ブロック隊日程

1988年(昭和63年)2月6日(土)～2月14日(日)

時間は全て現地時間  
 時差 日本とバンコク 2時間  
       日本とインド 3時間30分  
       日本とネパール 3時間20分

2月 5日 (金) 急行能登に福井, 石川, 高岡, 富山, 長野と順々に乗車して上野へ。

2月 6日 (土) 曇

出  
国

午前 6:45 上野駅着。公園口で待つバスまで長い階段, 重い荷物も何のその。  
 7:00 バスにて成田へ。  
 9:00 北ウィングVIPにて40名全員で結団式。  
 12:00 AI-315便にて離陸。昼食をとり  
 午後 6:54 バンコク着。一度降りて免税店で買い物。  
 8:10 バンコク発。夕食, 長い飛行で食欲あまり無し。  
 0:08 デリー着。入国手続きに約1時間かかる。

(現地時間 8:38)

10:00 ASHOK HOTEL 到着。

2月 7日 (日) 快晴

茶  
会  
打  
合  
せ

午前 7:30 モーニングコール。ロビーに集合して1日のスケジュールの発表。  
 8:40 朝食。そのあと自由時間, お金を両替えしたりホテル内のウィンドウショ  
       ッピング。  
 9:30 ロビーにて, 日本大使館や茶道同好会の方々と代表者(今井, 玉木, 堀内,  
       中明, 佐々木)と茶会打合せ。  
 11:00 ホテル庭園にて明日の茶会の打合わせ。  
 午後 1:00 昼食。白身魚ムニエル, パン, スープ, 果物。  
 2:00 市内観光に出発。クトゥブミナール, ラージ・ガード, インド門  
       ラール・キラール, ショッピングセンター  
 5:30 ホテルにもどる。  
 7:20 野田大使ご招待の夕食会へ(今井, 佐々木, 堀内, 氷熊, 太田(幸子))  
 7:30 夕食。中華料理。米島光栄さんの誕生パーティー。

大友好茶会

2月 8日 (月) 快晴

- 午前 6:45 モーニングコール
- 8:00 ロビー集合。朝食
- 8:50 日本大使館でお茶会をする人達は出発。  
 ( 今井, 佐々木, 堀内, 結城, 土田, 今井(寛子)  
 阪上, 尚和, 加藤, 山川, 多賀, 氷熊 )
- 日本大使館の茶室「碧席・白雲軒」にて薄茶をさし上げる。又、庭では同好会の方々と研修会。
- 9:00 ホテル庭園にて茶会の準備。
- 午後 1:00 昼食。チキンカレー。
- 3:00 友好、茶会受付開始。  
 庭園にて、お家元筆の「無位一真人」と短冊を掛け御園棚のお点前で、大友好茶会。お客様はデリー市議会議長 チャンドラさん、デリー、ネール両大学生等。新聞社など報道陣がお茶会の様子を取材していく。  
 庭の一隅ではティサービスもある。
- 7:30 希望者を募り、インド舞踊を見に行く。舞踊観覧。
- 8:30 ホテルにもどり夕食。インド料理バイキング。  
 大友好茶会も大成功に終り、感激も一入。

2月 9日 (火) 快晴

タージ・マハールへ

- 午前 7:00 モーニングコール。
- 8:30 朝食。
- 9:30 ホテル出発。デリー空港へ。空港にて1時間待つ。
- 11:30 離陸。
- 午後 12:30 アグラ着。
- 1:30 HOTEL MUGHAL SHERATON に着き昼食。  
 昼食。インド料理バイキング。
- 2:45 ロビーに集合してからタージ・マハール、アグラ城見学へ。タージ・マハール。とにかく壮大、素晴らしい。涙がでるほどステキ。  
 アグラ城、すばらしく広大。ここからのタージ・マハールもすばらしい。
- 7:00 ホテル着。
- 8:00 夕食。シタールの演奏を聞きながらインド料理。
- 9:00 希望者をつのって手品師の芸をホテルで。

## 2月10日(水) 快晴

- 午前 10時までフリータイム。バスによってバザールへ行く人、馬車やラクダにのる人、ホテルにて休む人と別れてそれぞれ楽しむ。
- 11:00 ホテルを出発して空港に着いたものの、離陸の予定が遅れ、2時間待つ。
- 2:40 やっとバナレス着。バスにて。
- 4:00 サルナート着。善光寺三浦大僧の「寒山月華白」短冊を掛け、ダメーク大塔にてお供茶する。杉山さんの講話をいただいて、お参りにいらしている各地のお坊さん、観光の方々にお茶をさしあげる。
- サリー織物工場へ。
- HOTEL CLAKS VARANASI へ。
- 8:00 夕食。

## 2月11日(木) 快晴

- 午前 4:40 モーニングコール。
- 5:30 眠い目をこすって集合。ガンジス河沐浴風景を見学。二艘の船に分乗し遊覧。とてもきれいとは言えない水の中に入って、顔を洗ったり、口をすすいだり、何とも複雑な気持ち。
- 8:30 ホテルにもどり朝食。カトマンズ行の飛行機が遅れるということで、ホテルにて待機。
- 午後 12:30 昼食。
- 1:00 ホテル出発。空港に着いたものの、まだ遅れる。
- 5:00 カトマンズへ向けて出発。
- 5:30 カトマンズ着。入国手続き約1時間
- 7:00 カトマンズのクリスタルホテルにて夕食。
- 8:05 バスにてポカラへ向う。長いバスの旅。話には聞いていたものの、すさまじい道路。せめてものすくいは、それはすばらしい満天の星。

## 2月12日(金) 快晴

- 午前 5:00 ポカラ着。HOTEL NEW CRYSTLEにて仮眠。
- 6:00 モーニングコール。
- ホテル屋上にてダウラギリ、アンナプルナ、マチャプチャリなど8,000 m級の連峰を展望。
- 7:15 朝食。
- 8:10 ホテル出発。ポカラ観光。

ペワ・タール湖。再びバスにゆられカトマンズへ向う途中、昼食はランチボックス。何の飾りもないボール箱にパン、ローストチキン、ゆで卵、果物が入っている。

- 午後 6:45 カトマンズの空港に着いたものの、予定の飛行機の故障のため欠航。急きょ当地ホテルに1泊することになる。
- 8:30 ホテルカトマンドウ着。
- 9:00 夕食。インド料理バイキング。今回の旅の最後の食事。  
今回大変お世話になった米島医師、佐々木さんに短冊を差し上げる。又、総本部より同行された佐々木さんにお言葉をいただき、1週間無事に過ごせたことに乾杯。小池さんの誕生パーティー。
- 10:30 馬場、尚和の部屋にて今井団長筆の「千里同風」短冊を掛け、インドで購入した皿を菓子器に使い、ポットで湯をわかし簡単にお茶を皆でいただく慰労茶会。

2月13日(出) 晴

カトマンズの休日

- 午前 8:00 起床。
- 9:00 朝食をとる。
- 10:00 カトマンズ市内観光。  
王宮広場(バドガオン)、スワヤンプ・ナート、ボートナート等。  
デリーでおみやげの紅茶、カレーなどの注文を受けると予定がデリーへ立ち寄れなくなったため、カトマンズのショッピング街であわてて皆買う。
- 午後 1:00 ネパール日本大使館表敬訪問。
- 2:00 ホテルにもどり昼食。
- 4:00 ホテル出発。一応全員空港へ向う。添乗員の木村さんが交渉、荷物は別便になるが40人全員が飛行機に乗れることとなる。ばんざいの声。
- 5:30 カトマンズ出発。
- 8:00 デリー空港着。日本への便に乗り換えのため1時間待つ。
- 9:30 デリー離陸。機内食。

2月14日(日) 晴

無事日本へ

- 午前 1:00 バンコク着。免税店にて最後の買い物。
- 10:25 大阪着。成田までいく人達とお別れ。9日間共に行動してきたので別れがたく、思わず涙腺がゆるむ。  
荷物があとの便になったので、税関にて宅配の手続きをとる。
- 11:30 福井、石川、高岡、富山と順々に、バスにて帰路につく。
- 12:20 成田から長野、新潟へと帰路につく。

# 裏千家青年奉仕隊日印文化交流使節 第2回 北陸信越ブロック隊組織

顧問	佐木 博 邦
団 長	今 井 秀 昭
副 団 長 ( 渉 外 ・ 会 計 )	玉 木 誠
( 茶 会 )	堀 内 汎 子
( 企 画 ・ 設 営 )	中 明 宗 裕
セクレタリー	本 江 敏 彦
	尚 和 淑 子
医 師	米 島 正 男
添 乗 員	木 村 幸 生

## 〔 班編成及び部屋割 〕

A ( 9 名 )	( 総 本 部 ) 佐々木 博 邦 ( リーダー ) 今 井 秀 昭 ( サブリーダー ) 馬 場 良 子	B ( 10 名 )	( リーダー ) 堀 内 汎 子 ( サブリーダー ) 本 江 敏 彦
佐々木博邦 ( 総本部 ) シングル 今井 秀昭 ( 富山 ) 今井 寛子 ( 富山 ) 馬場 良子 ( 長野 ) 尚和 淑子 ( 富山 ) 乙川南知子 ( 新潟 ) 加藤由美子 ( 高岡 ) 岡田 恵子 ( 石川 ) 小池真由美 ( 福井 )		土田 博澄 ( 福井 ) 本江 敏彦 ( 富山 ) 堀内 淳子 ( 長野 ) 結城 淳子 ( 新潟 ) 阪上アケミ ( 長野 ) 太田 幸子 ( 福井 ) 折井理智子 ( 長野 ) 斉藤 令子 ( 高岡 ) 米島 正男 ( 石川 ) 米島 光栄 ( 石川 )	
C ( 10 名 )	( リーダー ) 中 明 宗 裕 ( サブリーダー ) 宮 坂 房 明	D ( 10 名 )	( リーダー ) 玉 木 誠 ( サブリーダー ) 太 田 章 一
中明 宗裕 ( 高岡 ) 宮坂 房明 ( 長野 ) 花岡千恵子 ( 長野 ) 山川 京子 ( 福井 ) 花木 早苗 ( 富山 ) 佐野加代子 ( 新潟 ) 白崎ミチ子 ( 福井 ) 斉藤知可子 ( 富山 ) 佐藤恵美子 ( 新潟 ) 田中 厚子 ( 高岡 )		玉木 誠 ( 福井 ) 太田 章一 ( 富山 ) 窪田千恵子 ( 長野 ) 宮川みえ子 ( 長野 ) 水熊 泰子 ( 新潟 ) 多賀 敏美 ( 高岡 ) 佐藤まゆみ ( 長野 ) 山下 洋子 ( 新潟 ) 大丁 雄治 ( 福井 ) 杉山 法継 ( 福井 )	





Kimono-clad Japanese ladies turned out in strength by the side of the swimming pool at Ashoka Hotel to prepare for a demonstration of the tea ceremony. — Herald photo.

## Where tea and destiny mingle

...nouncing this here on lay, at a meeting of the Itative Committee of Mem- of Parliament attached to Ministry, the Minister of for Surface Transport, Mr. h Pilot said incentives, or less on the lines of the ing development, would be d to the private sector for evelopment of the inland ways.

said the investment along orderly preparation and tion of plans by 1990-92 l improve the infrastructure. e inland waterways and l also increase its capacity insporting freight

**IRITSAR, Feb. 8 (PTI)**— local customs seized a 1 haul of 212 gold biscuits d at Rs. 89 lakh from a 'trac- 1 the Gharinda police sta- area of the Indo-Pakistan r, on Saturday night.

e deputy collector of cus- Mr. Anant Ram told repor- hat foreign currency of \$ 330 lso seized.

has all through been recognised as not just a branch of art but a way of life in Japan — an ode to it even — emphasising the coun- try's Zen roots.

Chado, though, is only a relatively recent term for the art whose origins date back to the 15th century, but which con- tinues to be celebrated in the

He was probably referri the experience of the Jap when their Zen monks ret from their studies in Chi the 13th century and spoke the medical and psychol wonders the humble green der they had brought could on the devoted. And sch drawn to it more than ever tradition evolved, found i fine aid indeed in their que the ultimate aesthetic. "It safest stimulant we around," said one Japanese "Nothing like this little pot inspire you when the curtai down!"

But to come back to Rikyu. This leading figu both the arts and politics time provided the very mat Japanese etiquette and embodied in the four char: *Wa, Kei, Sai* and *Jaku* — e which the green leaf is pop believed to offer and pro *Wa* is harmony, *Kei* respect purity and *Jaku* tranquility

It is in deference to primary elements sepa man from the beast that C



Tea about to be served to guests. Herald photo.

❖よせ書き❖

太田章

夏休前拜  
日印社文庫使野  
北信越加  
1988年  
2月6~14日

千里同風  
目長今井秀昭

香風来

佐々木博邦

大丁雄治(福)

再見 土田博登(福)

山下洋子(新)

佐野加代子(新)

花木早苗(新)

坂田十恵子(高)

坂田十恵子(長)

坂田十恵子(長)

坂田十恵子(長)

坂田十恵子(長)

坂田十恵子(長)

坂田十恵子(長)

杉山法継(福)

結城(新)

結城(新)

結城(新)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

香島尚(福)

香島尚(福)

香島尚(福)

香島尚(福)

香島尚(福)

香島尚(福)

香島尚(福)

香島尚(福)

香島尚(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

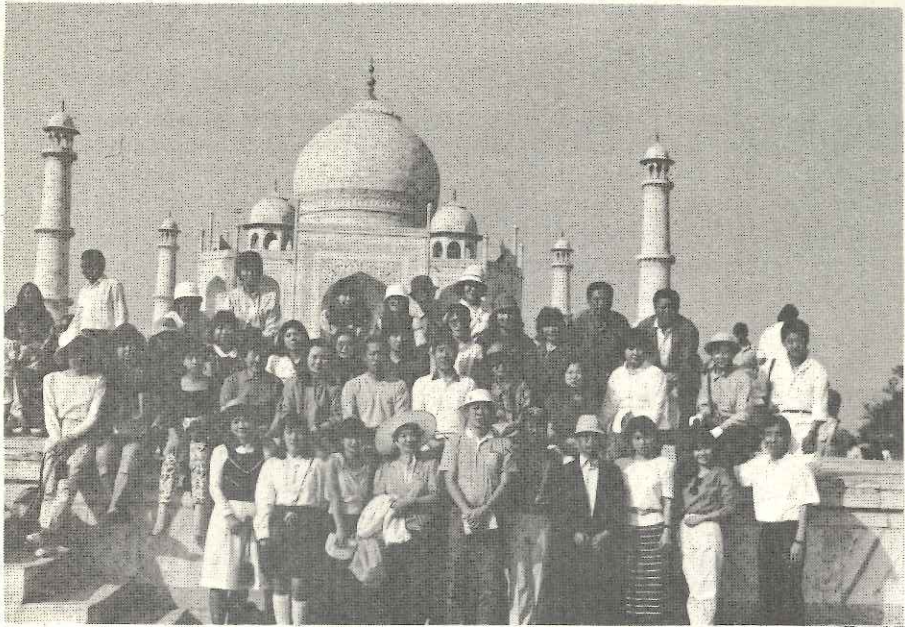
坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)

坂下(福)



---

東洋文化の源流を訪ねて

和 敬

裏千家青年奉仕隊日印文化交流使節  
第2回北陸信越ブロック隊 報 告

昭和63年10月8日 発行

発行責任者 今 井 秀 昭

発 行 茶道裏千家淡交会青年部北陸信越ブロック

---

